

# 「文字を見る、絵を読む」－ 日本文学とその媒体

## *Du pinceau à la typographie*

『日本の文字文化・出版文化史－日仏共同研究論文集』  
の出版を記念するワークショップ

主催 フランス国立極東学院、日仏会館フランス事務所  
共催 立教大学日本学研究所  
後援 在日フランス大使館文化部

日時 2007年4月27日（金）－ 28日（土）

場所 日仏会館1階ホール 渋谷区恵比寿3-9-25 Tel. 03-5421-7641

地図 <http://www.mfj.gr.jp/jp/map-j.html>

最寄り駅 JR 恵比寿駅東口、地下鉄日比谷線 恵比寿駅

### 趣旨

1999年に日仏会館において一年間にわたり行った「日本の文字文化・出版文化史」セミナーでの発表をフランス語に訳し上梓したことを記念して、奈良絵本、絵入り版本、画譜、扇、和紙など、日本文学とその媒体について種々な側面から考えるワークショップを企画しています。また、これを機に日仏学術交流が一層深まることを期待しております。

4月27日（金）17時～19時30分 記念講演（日仏同時通訳つき）

司会 小峯和明（立教大学）

- 挨拶 フランソワーズ・サバン（日仏会館フランス学長）
- フランシスキュス・ベレレーヌ（フランス国立極東学院 院長）  
「フランス国立極東学院の出版活動について」
- クリストフ・マルケ（フランス国立極東学院）  
「日本の文字文化・出版文化史論文集 *Du pinceau à la typographie* の編集をめぐって」
- クレール碧子・ブリッセ（パリ第七大学）  
「院政時代の装飾経における「女人成仏」－『平家納経』の葦手絵をめぐって」
- マリアンヌ・シモン＝及川（東京大学）  
「文字絵－江戸時代の日本のいたづら書き」
- パスカル・グリオレ（フランス国立東洋言語文化研究院）  
「日本での表記の媒体の多様性について」

4月28日（土）9時30分～18時 ワークショップ

9時 受付開始

9時30分～12時30分

司会 パスカル・グリオレ（フランス国立東洋言語文化研究院）

- 安原眞琴（立教大学）  
「出版文化開花前夜における忘れられた媒体「扇」についての考察 — 扇絵と歌のみから成る口数の少ないテキスト『扇の草子』は我々に何を伝えようとしているのか —」
- 小峯和明（立教大学）  
「『釈迦の本地』の絵と物語を読む」

司会 佐藤悟（実践女子大学）

- 石川透（慶応義塾大学）  
「フランス所在の奈良絵本・絵巻」
- クリストフ・マルケ（フランス国立極東学院）  
「フランス国立図書館蔵『明朝紫硯』について」

14時～18時

司会 内田保廣（共立女子大学）

- 小泉吉永（法政大学、元気21総合研究所）  
「往来物と文字教育」
- 高木元（千葉大学）  
「江戸読本に於ける文字と絵画」

司会 小宮山博史（佐藤タイポグラフィ研究所）

- 府川充男（印刷史研究会）  
「レオン・ド・ロニーの書物と『まいにちひらかなしんぶんし』に用いられた仮名活字」
- 久米康生（和紙文化研究会）  
「記録・印刷に用いられた和紙」

参加無料・聴講歓迎

主催者連絡先

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21

東洋文庫内 フランス国立極東学院

電話・FAX：03-3942-2119

c.marquet@wanadoo.fr

Études  
thématiques

## Du pinceau à la typographie

*Regards japonais sur l'écriture et le livre*



Textes réunis et présentés par  
Claire-Akiko BRESSET, Pascal GRIOLET,  
Christophe MARQUET et Marianne SIMON-OKAWA



フランス国立極東学 (EFEO) 出版 ISBN 2-85539-656-5

本の紹介は次のサイトでご覧になれます

<http://www.mfj.gr.jp/pb/index.html> (フランス語)

<http://www.ne.jp/asahi/yabe/masafumi/> (日本語)